MHB研究大会　応募原稿作成ガイド

2016年度MHB大会実行委員

１．原稿について

1. 応募原稿頁数： A4サイズ2ページ。口頭発表、ポスター発表及びデモンストレー ションすべて同じ。採択された場合の予稿集原稿になります。
2. 用紙サイズ：A4（210mm x 297mm） 　\*レターサイズではありません。
3. 原稿ページレイアウト：余白上下左右3センチ。
4. 1ページの行数と文字数：和文の場合　44行×40文字。英文の場合44行×1行80～90文字。
5. ファイル形式：ワードファイル（MS word）及びpdfのファイルの両方を提出。
6. ファイル名：発表筆頭者名をアルファベットで、苗字と名前の間にハイフンを入れる。

（例：山田花子さんの場合　YAMADA-Hanako.docまたはYAMADA-Hanako.docxまたはYAMADA-Hanako.pdf）

２．原稿のレイアウト、書体、文字サイズ等

1. タイトル：ページの1行目、中央。ゴシック体。12ポイント。
2. サブタイトル（もしあれば）：2行目中央にゴシック体。前後に全角ダッシュ（―）を入れる。12ポイント。
3. 英文タイトル：1行空けて、中央に。書体はTimes New Roman、12ポイント。サブタイトルがある場合は、半角コロン。
4. 英文サブタイトル（もしあれば）：次の行の中央に、書体はTimes New Roman。12ポイント。
5. 氏名（カッコ内に所属）：1行空けて、右寄せ。複数の場合、名前と名前の間は全角１文字分のスペース。1行におさまらない場合は次の行に。明朝体。12ポイント。
6. 見出し：1行あけて本文の見出し。見出しには節の番号「１．」（全角数字＋全角ピリオド）をいれる。ゴシック体。10.5ポイント。
7. 本文：日本語は明朝体またはそれに類するもの。英語はTimesまたはそれに類するもの。10.5ポイント。
8. 節と節の間にスペース（１行）を入れない。
9. 本文中の記号など：

・句読点：句点は「。」、読点は「、」。　　　　・カッコ ：（ ）「」『』ともに全角使用。

・数　字 ：アラビア数字の場合、一桁は全角、二桁以上は半角とする。

1. 図表：図表のタイトル・表の中の文字は10ポイント。図表の直後に新しい節が始まる場合はスペース（１行）を入れる。
2. 注：引用文献の前に入れる。数字はアラビア数字。10ポイント。
3. 引用文献：10ポイント。複数行にわたる場合は２行目以降は全角２文字分下げる。和文文献（50音順）の次に欧文文献（アルファベット順）。
4. 次のページをテンプレートとしてご利用ください。

３．注意事項

* 審査は匿名で行いますので、個人名がわかるような情報（たとえば助成金の情報など）は記載しないでください。
* 発表を認められた方の場合、応募原稿が原則として予稿集原稿として白黒で印刷されますので、網掛けなどの使用や図表は見やすさにご配慮ください。
* 疑問の点は遠慮なく実行委員会までお問い合わせください。

タイトルタイトルタイトル

―サブタイトル―

English Title:

English Subtitle

ジョン・スミス（日本語研究所）　山田花子（○○大学）

田中一郎（ABC大学大学院　博士後期課程）

１．はじめに

ここから本文を始めます。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。

　「本文です」と続いていますが、ここも本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。大会は2016年８月７日です。本文です。

２．日本語教室の授業内容

本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。　（中略）　本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。

　　（中略）

４．調査の結果

本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。

　　　　　　　　　　　　　　表ｘ　表のタイトル（人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童 | 教員 | 保護者 |
| 2言語使用 | 10 | 20 | 30 |
| 1言語使用 | 40 | 50 | 60 |
| 合計 | 50 | 70 | 90 |

本文です。本文です。本文です。本文です。

注　xxxxxxx

図1　タイトル

５．考察

　MHB研究会は2014年時点で会員数300名以上です１。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。本文です。

注

1. MHBホームページを参照した。http://mhb.jp/ (2015年4月19日アクセス)

引用文献

論文執筆者名(2014)「論文のタイトル―○○○○○○○○○―」『雑誌名△△△△△ジャーナル』3巻4号、pp.12-14

著者名・翻訳者名(2012)『著書名』出版社